au by KDDI

MOTOROLA XOOM™ Wi-Fi

TBi11M

セーフティガイド

ごあいさつ

このたびは、MOTOROLA XOOM™ Wi-Fi TBi11M(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『セーフティガイド』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
本書では、クイックスタートガイド、セーフティガイド、ユーザーガイドを総称して取扱説明書と表記します。

取扱説明書ダウンロード

本製品の取扱説明書は、「クイックスタートガイド」「セーフティガイド」「ユーザーガイド」をご用意しており、auホームページからダウンロードできます。
パソコンから:**http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html**
なお、「クイックスタートガイド」「セーフティガイド」は本製品に同梱されております。

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動させると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通信品質を維持し続けます。したがって、通信中にこの極限を超えてしまうと、突然通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえませんので、ご留意ください。
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。
  (This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

こんな場所では、使用禁止！

- 自動車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車運転中の使用は法律で禁止されています。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。

■免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（情報の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
◎『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎事故や本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、本体やmicroSDカードに登録されたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎大切なデータは別途パソコンのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては一切責任を負いません。
※ 本製品で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
輸入元：モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
製造元：Motorola Mobility, Inc.

安全上のご注意

■安全にお使いいただくために必ずお読みください。

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2　傷害:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3　物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明

図記号	説明
禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■本体、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

禁止

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)やガソリンスタンドでの給油中など引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。

禁止 電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

禁止 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止 接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

禁止 お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。

正しくは「ACアダプター」です。訂正させていただきます。

水など液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

禁止	外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプタに長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
禁止	コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
禁止	腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
禁止	外部接続端子部やmicroSDカードスロットなどからほこりなどの異物が入るような場所に放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると、故障の原因になります。
指示	使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたら使用しないでください。異常が起きた場合、ACアダプタをコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。
指示	イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

正しくは「ACアダプター」です。訂正させていただきます。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

●MOTOROLA XOOM™ Wi-Fi TBi11M本体

使用箇所	使用材料	表面処理
フロント外部ケース	強化ガラス	抗汚コーティング
下部接続端子カバー	thermocomp plastic.	高ポリッシュ仕上げ
バッテリーカバー	アルミニウム	陽極酸化処理
バックカバー(上部)	ポリカーボネート	ソフトタッチ塗装
音量キー/電源キー	ポリカーボネート	高ポリッシュ仕上げ

■本体について

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

航空機内での電波を発生する電子機器の使用は法律で禁止されています。航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたす可能性がありますので、本製品本体の電源をお切りください。

禁止

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響をあたえる場合があります。(影響を与える機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医療用電子機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

正しくは「ACアダプター」です。訂正させていただきます。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 キャッシュカード･フロッピーディスク･クレジットカード･テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

禁止 メモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災･感電･故障の原因となります。

指示 心臓の弱い方は音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

指示 本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン･カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

指示 キーの押下や指で文字を入力するなどの動作を繰り返し行うと、手、肩、首などの痛みや違和感が生じる場合があります。使用中または使用後に症状が続く場合は、使用を中止して医師に相談してください。

■ACアダプタについて

アース線と接地については、ACアダプタ取扱説明書の注意事項をお読みください。

安全に関わる重要なお知らせですので、必ずお読みください。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、発熱･発火･感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火･火災･発熱･感電などの原因となります。日本国内家庭用AC100Vを使用してください。

正しくは下記の通りです。訂正させていただきます。
「アース線付きACアダプターの場合、アース線と接地については、ACアダプター（MOT11PQA）取扱説明書の注意事項をお読みください。」

指示	ACアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだACアダプタやゆるんだコンセントは使用しないでください。
禁止	雷が鳴り出したらACアダプタの電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。
プラグをコンセントから抜く	長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。
水ぬれ禁止	水など液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水漏れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止	風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

正しくは「ACアダプター」です。訂正させていただきます。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、カバンなどに入れるときは、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品は液晶画面に強化ガラスを使用していますが、地面に落としたり、強い衝撃が加わると割れることがあります。ひびが入ったり、割れてしまった場合は、けがをしないように取り扱いに留意し、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- ボタンやディスプレイの表面を爪や鋭利な物、硬い物などで強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因になります。
  ディスプレイは人の指で直接触れて操作してください。
  タッチパネルは人の指で軽く触れるように設計されています。以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度5℃〜35℃、湿度35%〜85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■本体について

- 本体裏面に貼ってある印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品が電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、絶対にはがさないでください。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がこの銘板シールに表示されております。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。携帯電話などの電源を切るように掲示されている場所では、本製品についても電源を切ってください。
- 本製品のメモリカードスロットには、microSDメモリカード(市販品)またはmicroSDHCメモリカード(市販品)以外のものは挿入しないでください。

正しくは下記の通りです。訂正させていただきます。
「本体裏面の刻印は、お客様が使用されている本製品が電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものです。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が表示されております。」

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、手汗が付着した場合には、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因になりますのでご注意ください。
- 長時間連続して表示し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 接続端子に充電端子を接続するときは、接続端子に対して充電端子が平行になるように抜き差ししてください。
- 接続端子に充電端子を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。また、人の指以外のもの(特に鋭利な物や硬い物)でディスプレイに触れないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

■電池パックについて

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 電池パックには寿命があります。本体に接続しても作動しない場合には寿命の場合がありますのでご使用をおやめになり、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生します。あらかじめ、ご了承ください。なお、電池パックの寿命はお客様のご使用状態によっても異なります。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。

■イヤホンについて

- 横断歩道を歩く時は、できるだけ音量を低くしてください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、イヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- イヤホンを長時間装着しないでください。長時間にわたる高いトーンは聴力を損傷させます。
- 雷が鳴る天気の日は、イヤホンを使用しないでください。

正しくは「ACアダプター」です。訂正させていただきます。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で入手したコンテンツデータなどを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
- コンテンツデータは著作権法により、その著作権および著作権の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的または家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合は、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像などを転送することはできません。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や本製品以外から本製品に取り込んだコンテンツデータで、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※ 控え作成の手段:重要なデータはmicroSDカードなどに保存しておいてください。ただし、一部のデータはmicroSDカードに保存できない場合もあります。あらかじめ、ご了承ください。

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

正しくは「著作物および著作権者」です。
訂正させていただきます。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用する場合のお願い

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1/DS4/OF4

- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- **無線LAN(Wi-Fi)機能：2.4DS/OF4**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

▬▬ ▬▬ ▬▬
2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。本製品のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

Bluetooth®ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 無線LAN(Wi-Fi)機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN(Wi-Fi)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi）機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

Radio Frequency (RF) Energy

Exposure to RF Energy

Your mobile device contains a transmitter and receiver. When it is ON, it receives and transmits RF energy. When you communicate with your mobile device, the system handling your network access controls the power level at which your mobile device transmits.

Your mobile device is designed to comply with local regulatory requirements in your country concerning exposure of human beings to RF energy.

RF Energy Operational Precautions

For optimal mobile device performance, and to be sure that human exposure to RF energy does not exceed the guidelines set forth in the relevant standards, always follow these instructions and precautions:

- If you use the mobile device placed on your body (such as on your lap), always place the mobile device in a Motorola-supplied or approved case. If you do not use a body-worn accessory supplied or approved by Motorola, keep the mobile device and its antenna at least 2.5 centimeters (1 inch) from your body when transmitting.
- Using accessories not supplied or approved by Motorola may cause your mobile device to exceed RF energy exposure guidelines. For a list of Motorola-supplied or approved accessories, visit our Web site at: **www.motorola.com.**

RF Energy Interference/Compatibility

Nearly every electronic device is subject to RF energy interference from external sources if inadequately shielded, designed, or otherwise configured for RF energy compatibility. In some circumstances, your mobile device may cause interference with other devices.

Specific Absorption Rate (ICNIRP)

YOUR MOBILE DEVICE MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.

Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. The highest SAR value under the ICNIRP guidelines for your device model is: 0.52 W/kg.

During use, the actual SAR values for your device are usually well below the values stated. This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the wireless connection. The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They recommend that if you are interested in further reducing your exposure then you can easily do so by limiting your usage. Additional information can be found at **www.who.int/emf** (World Health Organization).

Information from the World Health Organization

"A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phone pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established for mobile phone use."

Source: WHO Fact Sheet 193

Further information: **http://www.who.int/emf**

European Union Directives Conformance Statement

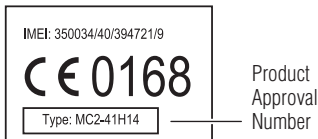
The following CE compliance information is applicable to Motorola mobile devices that carry one of the following CE marks:

The CE mark demonstrates compliance for purposes of sale and use within the European Union and regions that recognize EU authorization. If your product does not have a CE mark, you should consult with your carrier before using in those areas.

CE 0168

CE 0168 ⓘ [Only Indoor Use Allowed In France for Bluetooth and/or Wi-Fi]

Hereby, Motorola declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number. You can view your product's Declaration of Conformity (DoC) to Directive 1999/5/EC (to R&TTE Directive) at **www.motorola.com/rtte**. To find your DoC, enter the Product Approval Number from your product's label in the "Search" bar on the website.

FCC Notice to Users

The following statement applies to all products that have received FCC approval. Applicable products bear the FCC logo, and/or an FCC ID in the format FCC ID:xxxxxx on the product label.

Motorola has not approved any changes or modifications to this device by the user. Any changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment. See 47 CFR Sec. 15.21.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See 47 CFR Sec. 15.19(3).

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Location Services (GPS & AGPS)

The following information is applicable to Motorola mobile devices that provide location based (GPS and/or AGPS) functionality.

Your mobile device may use Global Positioning System (GPS) signals for location-based applications. GPS uses satellites controlled by the U.S. government that are subject to changes implemented in accordance with the Department of Defense policy and the Federal Radio Navigation Plan. These changes may affect the performance of location technology on your mobile device.

Your mobile device may also use Assisted Global Positioning System (AGPS), which obtains information from the cellular network to improve GPS performance. AGPS uses your wireless service provider's network and therefore airtime, data charges, and/or additional charges may apply in accordance with your service plan. Contact your wireless service provider for details.

Your Location

Location-based information includes information that can be used to determine the approximate location of a mobile device. Mobile devices which are connected to a wireless network transmit location-based information. Devices enabled with GPS or AGPS technology also transmit location-based information. Additionally, if you use applications that require location-based information (e.g. driving directions), such applications transmit location-based information. This location-based information may be shared with third parties, including your wireless service provider, applications providers, Motorola, and other third parties providing services.

Navigation

The following information is applicable to Motorola mobile devices that provide navigation features.

When using navigation features, note that mapping information, directions and other navigational data may contain inaccurate or incomplete data. In some countries, complete information may not be available. Therefore, you should visually confirm that the navigational instructions are consistent with what you see. All drivers should pay attention to road conditions, closures, traffic, and all other factors that may impact driving. Always obey posted road signs.

Privacy & Data Security

Motorola understands that privacy and data security are important to everyone. Because some features of your mobile device may affect your privacy or data security, please follow these recommendations to enhance protection of your information:

- **Monitor access**—Keep your mobile device with you and do not leave it where others may have unmonitored access. Lock your device's keypad where this feature is available.
- **Keep software up to date**—If Motorola or a software/application vendor releases a patch or software fix for your mobile device that updates the device's security, install it as soon as possible.
- **Secure Personal Information**—Your mobile device can store personal information in various locations including your SIM card, memory card, and internal memory. Be sure to remove or clear all personal information before you recycle, return, or give away your device. You can also backup your personal data to transfer to a new device.

  Note: For information on how to backup or wipe data from your mobile device, go to **www.motorola.com/support**
- **Online accounts**—Some mobile devices provide a Motorola online account (such as MOTOBLUR). Go to your account for information on how to manage the account, and how to use security features such as remote wipe and device location (where available).
- **Applications**—Install third party applications from trusted sources only. Applications can have access to private information such as call data, location details and network resources.

- **Location-based information**—Location-based information includes information that can be used to determine the approximate location of a mobile device. Products which are connected to a wireless network transmit location-based information. Devices enabled with GPS or AGPS technology also transmit location-based information. Additionally, if you use applications that require location-based information (e.g. driving directions), such applications transmit location-based information. This location-based information may be shared with third parties, including your wireless service provider, applications providers, Motorola, and other third parties providing services.
- **Other information your device may transmit**—Your device may also transmit testing and other diagnostic (including location-based) information, and other non-personal information to Motorola or other third-party servers. This information is used to help improve products and services offered by Motorola.

Software Copyright Notice

Motorola products may include copyrighted Motorola and third-party software stored in semiconductor memories or other media. Laws in the United States and other countries preserve for Motorola and third-party software providers certain exclusive rights for copyrighted software, such as the exclusive rights to distribute or reproduce the copyrighted software. Accordingly, any copyrighted software contained in Motorola products may not be modified, reverse-engineered, distributed, or reproduced in any manner to the extent allowed by law. Furthermore, the purchase of Motorola products shall not be deemed to grant either directly or by implication, estoppel, or otherwise, any license under the copyrights, patents, or patent applications of Motorola or any third-party software provider, except for the normal, non-exclusive, royalty-free license to use that arises by operation of law in the sale of a product.

Content Copyright

The unauthorized copying of copyrighted materials is contrary to the provisions of the Copyright Laws of the United States and other countries. This device is intended solely for copying non-copyrighted materials, materials in which you own the copyright, or materials which you are authorized or legally permitted to copy. If you are uncertain about your right to copy any material, please contact your legal advisor.

Open Source Software Information

For instructions on how to obtain a copy of any source code being made publicly available by Motorola related to software used in this Motorola mobile device, you may send your request in writing to the address below. Please make sure that the request includes the model number and the software version number.

MOTOROLA MOBILITY, INC.
OSS Management
600 North US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
USA

The Motorola website **opensource.motorola.com** also contains information regarding Motorola's use of open source.

Motorola has created the **opensource.motorola.com** website to serve as a portal for interaction with the software community-at-large.

To view additional information regarding licenses, acknowledgments and required copyright notices for open source packages used in this Motorola mobile device, please touch **Apps** > **Settings** > **About tablet** > **Legal information** > **Open source licenses**.

In addition, this Motorola device may include self-contained applications that present supplemental notices for open source packages used in those applications.

Copyright & Trademarks

Motorola Mobility, Inc.
Consumer Advocacy Office
600 N US Hwy 45
Libertyville, IL 60048
www.motorola.com

Certain features, services and applications are network dependent and may not be available in all areas; additional terms, conditions and/or charges may apply. Contact your service provider for details.

All features, functionality, and other product specifications, as well as the information contained in this guide, are based upon the latest available information and believed to be accurate at the time of printing. Motorola reserves the right to change or modify any information or specifications without notice or obligation.

Note: The images in this guide are examples only.

Caution: Motorola does not take responsibility for changes/ modification to the transceiver.

Product ID: MOTOROLA XOOM™ Wi-Fi TBi11M

輸出管理規制

本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。(本機は、外国為替及び外国貿易法によるリスト規制品を含みます。米国輸出規制により、以下の国々に本機を持ち込むことはできません。(2010年11月現在)キューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア)

U.S law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries-Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSD™、microSDHC™は、SDアソシエーションの商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.が所有する登録商標であり、Motorola Mobility, Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

ソフトウェア更新

本製品でソフトウェア更新のお知らせを受信したときは、ソフトウェアを更新してください。

本製品のソフトウェアを更新する方法は次の通りです。

- **本製品のみで更新する**：ホーム画面で アプリ をタップ→「設定」をタップ→「タブレット情報」をタップ→「System updates」をタップします。

ソフトウェア更新について詳しくは、auホームページ（**http://www.au.kddi.com**）にてご確認ください。

注意：ソフトウェア更新用データのデータサイズは25MB以上になる場合があります。

正しくは「システムアップデート」です。
訂正させていただきます。

アフターサービスについて

- **修理を依頼されるときは**:修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

注意: メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

注意: 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

- **補修用性能部品について**:当社はこのMOTOROLA XOOM™ Wi-Fi TBi11M本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後3年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **保証書について**:保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- **アフターサービスについて**:アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　フリーコール **0077-7-113**(通話料無料)

au電話からは　局番なしの**113**(通話料無料)

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について(通話料無料)

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの**157**番

Pressing "zero" will connect you to an operator, after calling "157" on your au cellphone.

紛失・盗難・故障・操作方法について(通話料無料)

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

フリーコール **0120-977-033**(沖縄を除く地域)
フリーコール **0120-977-699**(沖縄)

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。本冊子は、その一環として製作されております。

2011年3月第1版

発売元　KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
製造元　Motorola Mobility, Inc.

68014788001

お客様各位

■本製品の電子認証・認定番号に関するお知らせ■

このたびは、MOTOROLA XOOM™ Wi-Fi TBi11M(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

≪確認方法≫ホーム画面で アプリ →設定→タブレット情報→法的情報→認証

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明を受けており、その証として、「技適マーク 〒」が本製品本体内で確認できるようになっております。
認証情報については本体裏面にも記載されておりますが、最新情報は本体の電子認証内容でご確認いただきますよう、お願いいたします。

万一、本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

2011年3月

発売元：KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社
輸入元：モトローラ・モビリティ・ジャパン株式会社
製造元：Motorola Mobility, Inc.

68014879004